

| | 最終作成年 | 基本的な課題 | 基本理念 | 将来像 | 意味 | まちづくりの目標(基本方向) | 参考 |
|--------------|-------------------------------------|--|---|---|---|---|--|
| 河内長野市 (案) | 平成27年予定 (第5次 平成28年度～ 37年度) | ①人口減少・人口構造の変化への対応 ②安全・安心なまちづくりの推進 ③超高齢社会への対応 ④次代を担う人材の育成と生涯学習によるまちづくりの推進 ⑤自然環境の保全と活用 ⑥都市基盤の質的向上 ⑦農林商工観光業の連携による産業の振興 ⑧市民協働の促進と地域コミュニティの活性化 ⑨自立した行政経営の推進 ⑩広域連携の推進 | ①「人・自然・文化との調和と共生のまちづくり」 ②「安全・安心で元気なまちづくり」 ③「市民一人ひとりが主役の、みんなで一緒に創るまちづくり」 | 人・自然・文化がつながる 暮らしやすく育みやすい、活力あるまち 河内長野 | ①「人・自然・文化を活かす」…本市で暮らす人、活動する人、訪れる人などの人的資源、市民が誇りを持てる豊かで美しい自然や先人が守り、創ってきた文化の地域資源を活かす ②「暮らしやすさ」…誰もが暮らしやすさを感じる良好な居住環境、生活利便性を高める ③「育みやすさ」…子どもを生みやすい、育てやすい環境、子どもから高齢者まで学べる教育環境の充実を図る。 ④「活力の創造」…産業の活性化、協働の促進など地域の力、市民の力の活用 | ①「安全・安心・支えあい」の暮らしやすいまち ②「育み・学び・思いやり」の質の高いまち ③「潤い・快適・活力」のにぎわいのまち | 第1次将来像「緑の健康都市」 第2次将来像「潤いと活気のある緑の健康都市」 第3次将来像「ひと・まち・緑 夢くうかん 歴史と文化の生活創造都市」 第4次将来像「みんなで創ろう 潤いめぐる 緑と文化の輝くまち 河内長野」 |
| 富田林市 | 平成19年3月 (第4次 平成19年度～ 28年度) | ①だれもが暮らしやすいまち・コミュニティの再生(地域志向) ②次世代へ受け継がれる、チャレンジ精神豊かなまちづくり(未来志向) ③富田林らしい、活力あるまちづくり(ストック志向) ④新しいまちづくりスタイルの確立(協働志向) | ①みんなでつくり、育もう、魅力あるまち富田林 ②暮らしやすさを実感 ③互いに連携し支えあう地域 ④身近な資源への愛着と活用 ⑤前地球的な視点と積極的な行動 | 南河内の中心として独自のまちづくりを進めてきた歴史・伝統を受け継ぎ、金剛・葛城山系に連なるみどり豊かな景観と、清き石川に育まれた心豊かな人々が、互いに支えあいながら、いきいきと健やかに暮らし続けるまち・富田林 | ①みどり豊かで潤いある自然環境につつまれる、心が和む美しいまち ②市民/来訪者に関わらず各世代が集い、交流する、にぎわいのあるまち ③市民の主体的な参加と互いの支えあいが築く、暮らしよいまち | ①平和ですべての市民が互いに尊重しあえるまちをめざす ②透明性が高く市民本位の地域経営をめざす ③明日の担い手を地域で連携しながら育むまちをめざす ④いつまでも健やかに生きがいを持って暮らせるまちをめざす ⑤環境にやさしい循環型のまちをめざす ⑥安全で快適に暮らせるまちをめざす ⑦地域資源をうまく生かした活力あるまちをめざす | 第1次将来像「緑と太陽に恵まれた美しい自然を保全しながら環境水準の高い教育文化都市の実現をめざす」 第2次将来像「石川にはぐくまれた河内文化のさと-富田林」 第3次将来像「ひと・みどり・文化 定住のまち富田林」 |
| 大阪狭山市 | 平成23年3月 (第4次 平成23年度～ 32年度) | ①人口減少社会における持続可能なまちづくり ②少子高齢社会における安全・安心のまちづくり ③環境負荷の低いまちづくり ④地方分権への対応と自立と協働のまちづくり ⑤高度情報化に対応したまちづくり | ①まちづくりの中心に「人」を位置づけ、一人ひとりが豊かな人間性をつちかい、互いの人権を尊重しあいながら、安心していきいきと生活できる、すべての人にやさしいまちづくり ②大阪狭山市にかかわるすべての人が、それぞれ市民自治の担い手であることを自覚し、誰もが主体的にまちづくりに参画し、協働する市民自治によるまちづくり | 水きらめき 人が輝く 共生のまち 大阪狭山 | ①狭山池の水がきらめくように人が輝き、人と自然との共生、さらには人と人との共生をめざしたまち ②互いの人権を尊重しあいながら市民が生活の豊かさを実感できる生活本位のまち ③地域への愛着や誇りを醸成し、まちづくりの活動を次世代に継承するまち | ①大阪狭山らしさを創出する 自立と協働のまち ②健康で安心して暮らし続けられる 思いやりのあるまち ③人と自然が共生する 環境にやさしいまち ④ともに学び 世代をつないで 人を育むまち ⑤にぎわいがあり 安全で快適な暮らしのあるまち ⑥みんなで創る 持続可能なまち | 第3次将来像「ふれあいが人をはぐくむ水の郷」 |
| 羽曳野市 | 平成18年4月 (第5次 平成18年度～ 27年度) | ①既存ストックを活用した都市機能の充実とネットワークの強化 ②広域交流拠点としてのまちづくりの展開 ③都市の求心性の創出 ④資源を活かしたまちづくりの展開 ⑤多機能の視点からみた農業の振興 ⑥地域コミュニティの醸成・市民協働の推進 | ①安全・安心・共生のまちづくり ②民・学・産・官の協働によるまちづくり ③知恵と工夫によるまちづくり | 人・時をつなぐ 安心・健康・躍動都市はびきの | 明日の羽曳野づくりに関して、羽曳野の特性である「人のつながり」、「時のつながり」を大切にしながら、本市で暮らし、また、過ごすすべての市民がめざすべき新しい将来像を定め、新しいまちづくりを展開していきます。 | ①安全・安心、快適で住みやすいまち ②健康で生き生きと暮らせるやさしいまち ③次代を担う子どもを育むまち ④魅力ある地域社会を拓く活力あるまち ⑤信頼に基づく市民とともにつくるまち | 第4次将来像「雅びのまち」 |
| 松原市 | 平成23年3月 (第4次 平成23年度～ 30年度) | ①微減ながら人口減少が続く、転出超過が続いています ②良好な居住環境を有する「住宅地まっばら」の形成を目標とし、産業振興方策にも取り組む必要がますます ③市民、事業者、行政による協働のまちづくり推進の体制をつくる必要があります ④行財政改革を推進するとともに財政力強化を図っていくことが求められます ⑤松原らしさがうかがえる魅力あるまちづくりが求められます | ①まちの転換期を担うまちづくり ②まちの特性を高め、まちの課題を克服するまちづくり ③愛着と誇りを共有し、ともに進める協働のまちづくり | 挑戦し続ける 元気あふれるまち まっばら | ①市民の暮らしの向上と「人、まちの活力」をひとつの力に束ね、元気な「人とまち」 ②あらゆる市民が、まちづくりの目標のもとに心をひとつにしていく必要があり、市民が健やかに暮らすことができ、市民間で支えあい優しさのある、人の和を創ることが求められています。 ③市民が「まっばら」に住むことに誇りと希望を持つことができ、また市民が心を和らげることができるほっとするまち ④市民それぞれが自立して市民の夢、まちの夢に向かうことができる、その市民の夢をバックアップするための都市基盤づくりと行財政力を確立し、活力を有する「元気なまち松原」 | ①安心して住み続けることができるまちづくり ②市民誰もが健やかに暮らせる和らぎのまちづくり ③未来を拓く自立心を育む人づくり ④利便なまち、元気で活力あふれるまちづくり ⑤市民と行政の協働によるまちづくり | 第3次将来像「人が輝くロマンと躍動の健康文化都市松原」 |

| | 最終作成年 | 基本的な課題 | 基本理念 | 将来像 | 意味 | まちづくりの目標(基本方向) | 参考 |
|-------|--|--|---|---|---|---|---|
| 太子町 | 平成18年4月 (第4次 平成18年度～ 27年度) | ①定住魅力を高める地域資源の活用 ②安全安心な生活を実現する連携・協働 ③地域活力を生み出す戦略的な施策展開 ④住民と行政が協働できる体制づくり | ①聖徳太子が説いた「和」の精神の意味を現代に置き換え、共生・調和・和やか・パートナーシップなど、これからのまちづくりに活かします。 | みんなでめざします 豊かな緑と歴史を活かした元気のあるまち 太子町 | ①豊かな自然環境や聖徳太子御廟などの歴史遺産をまちづくりに活かしながら、新たなまちづくりをめざします。 | ①人の和を育てる ②文化の和を守る ③地域の和をひろげる | 第3次将来像「いにしへの心を未来へ“近つ飛鳥の里 太子”-豊かな緑と歴史 いきいきヒューマンタウンをめざして-」 |
| 河南町 | 平成22年3月 (第4次 平成22年度～ 32年度) | 新しいまちづくりの視点 ①人口減少、少子高齢化への対応 ②住環境の向上と交通網の強化 ③自然環境などと調和したまちづくりの推進 ④総合的な環境対策の推進 ⑤地域産業の強化・育成 ⑥暮らしの安全や安心を支えるまちづくりの強化 ⑦文化資源を活用したまちの個性・魅力の創出 | ①みどり(緑)・・・自然と共生するまち ②きずな(絆)・・・ともに協働するまち ③つなぐ(継)・・・次代に生きるまち | 豊かな自然と文化 ともに創る笑顔あふれる元気なまち | ①豊かな自然環境や長年にわたって培われてきた伝統、文化などの地域固有の資源、人と人とのつながりをいかします。 ②住民、事業者などと行政が協働しながら、子どもから高齢者までのすべての住民が笑顔あふれる元気なまちをめざします。 | ①一人ひとりが輝くまちづくり ②子どもたちの笑顔あふれるまちづくり ③安全で安心して暮らせるまちづくり ④快適な生活基盤の充実したまちづくり ⑤美しい水とみどり豊かにぎわいのあるまちづくり | 第3次将来像「みどりと文化 活気あふれる健康のまち」 |
| 千早赤阪村 | 平成23年3月 (第4次 平成23年度～ 32年度) | むらづくりの姿勢 ①村民等と行政の役割の明確化による協働型社会の構築 ②行財政改革の推進 ③開かれた行政経営 ④広域行政の推進 | ①村民と行政の一体感の醸成と地域個性の創出を図りながら、村民の意向を十分反映した村政運営をめざします。 | みんなが集う みんなが育む みんなに優しい みんなを結ぶ ちはやあかさか ～夢を持って子育てができる 金剛山のむら～ | ①「みんなが集う-観光力-」・・・豊かな自然・歴史資源を生かし、多くの人が本村を訪れる活力あるむらづくり ②「みんなが育む-教育力-」・・・むらづくりは人づくりを基本に、次世代を担う子どもたちの育成と地域や村民みんなが育つむらづくり ③「みんなに優しい-環境力-」・・・自然を保全し、地域環境にやさしいむらづくり ④「みんなを結ぶ-協働力-」・・・一人ひとりが、互いに尊重し合い、地域社会の基礎となる人と人との信頼の絆を結び、真の豊かさを求めるむらづくり | ①豊かな自然と共生し やすらぎのある暮らしを育む むらづくり ②心と体の健康を みんなで育む むらづくり ③歴史・文化、人が育む むらづくり ④地域資源を生かした村民の元気を育む むらづくり ⑤村民の快適な暮らしを育む むらづくり ⑥村民と行政がともに育む むらづくり | 第1次将来像「自然と調和した活気あふれる村づくり」 第2次将来像「みんなで目指す豊かな自然・心・暮らしが広がる”こごせ(金剛山)の里”」 第3次将来像「人・自然・歴史 やすらぎの里-ちはやあかさか」 |
| 橋本市 | 平成20年3月 (長期総合計画 平成20年度～ 29年度) | ①まちの活性化 ②居住魅力を高める水と緑の保全と創造 ③安心して生きがいのもてる社会づくり | ～ひと・自然・歴史を活かし豊かさを高めるまちづくり ①人々が生き生きと暮らし、働き、学べること ②まちの緑や水が輝き、個性ある風土が培われること ③地域に伝わる歴史や文化が大切にされ、未来に継承されること | 時間(とき)ゆたかに流れ 暮らし潤う創造都市 橋本 | ①「時間(とき)ゆたかに流れ」・・・「ゆとり」とは、物質的に満足しているだけでなく、人々が無理のないくらいができることであり、時間に追われることなく、余裕をもって働き、学び、楽しむことです。 ②「暮らし潤う」・・・「潤い」とは、市民一人ひとりの個性や能力が尊重されること、人と人との関係が好ましいものであること、人を包む自然環境や都市環境の質がすぐれたものであることなどから生まれるものです。 ③「創造都市」・・・わたしたちは、このような人々の「ゆとり」と「潤い」が生まれることを橋本市の発展と考え、美しい自然や魅力ある歴史・文化資源などを背景に、人と人との支え合いや交流によって生活の質を高めていくことができるまちを目指します。 | ①市民の力が活きるまちづくり ②健やかで安心して暮らせるまちづくり ③豊かな自然と共生する均衡あるまちづくり ④活力ある産業を育成し若者が定住できるまちづくり ⑤個性ある人と文化を育むまちづくり | |
| 五條市 | 平成20年9月 (第5次 平成20年度～ 29年度) | ①地域の特性を活かした産業振興施策の推進 ②人口減少と少子高齢化社会への対応 ③安心を支える生活基盤の確保 ④豊かな自然環境や世界に誇れる歴史資源等の保全 ⑤行政運営・まちづくりへの市民参画の促進 | ①地域の活力を支える産業と人材が育つまちづくり ②みんなが安心して暮らせるまちづくり ③南和地域の人・文化・情報の交流拠点となるまちづくり ④豊かな自然・誇りある歴史と共生する快適なまちづくり ⑤すべての人が社会参加するまちづくり | 豊かな自然と歴史が織りなす なごみとロマンとふれあいの創造都市 | ①限られた資源を有効に活用しながら、より住民満足度の高い施策の重点的な実施と、住民と行政の良好な協力関係の構築により、新しい将来像の実現を目指します。 | ①地域の活力を支える産業と人材が育つまちづくり ②みんなが安心して暮らせるまちづくり ③南和地域の人・文化・情報の交流拠点となるまちづくり ④豊かな自然・誇りある歴史と共生する快適なまちづくり ⑤すべての人が社会参加するまちづくり | |

| | 最終作成年 | 基本的な課題 | 基本理念 | 将来像 | 意味 | まちづくりの目標(基本方向) | 参考 |
|------|--------------------------------------|--|--|--|---|--|---|
| 池田市 | 平成23年1月 (第6次 平成23年度～ 34年度) | ①人口減少社会の到来 ②循環型社会の実現に向けた取り組みの進展 ③高度情報ネットワーク社会の到来 ④安全・安心への意識の高まり ⑤地方分権の進展 ⑥住民自治社会への期待 | ①市民、市議会および執行機関等が、協働により行うこと。 ②市民、市議会および執行機関等が、まちづくりに関する互いの情報を共有すること。 ③市民の自主的・自立的な参画および男女共同参画が保障されること。 ④個人の権利が尊重されるとともに、都市の活力、自然環境、生活環境および教育・文化環境の調和が確保されること。 | 「私」が創る「地域」と育てる誇りに思えるまち | 1.将来都市像 豊かな自然を守り、遊ぶ 歴史に学び、集うにぎわいが人と人をつなぎ、豊かで美しい心が育まれるまち 2.まちの将来イメージ ① にぎわいと活力あふれるまち ② みんなが健康でいきいきと暮らせるまち ③ 人、環境にやさしい安全・安心なまち ④ みんなでつくる分権で躍進するまち ⑤ 豊かな心を育む教育と文化のまち ⑥ 行財政改革を推進し希望の持てるまち | ①地域分権で進めるまちづくり ②環境にやさしいまちづくり ③世界に誇れる安全で安心なまち ④「教育のまち池田」の推進 ⑤細河地域の活性化 | 第5次将来像「2010(ふれあいラブ)池田—フロンティア都市の再生と創造に向けて—」 |
| 箕面市 | 平成23年3月 (第5次 平成23年度～ 32年度) | ①成熟社会の生活不安 ②労働格差と労働人口の減少 ③地球環境問題の深刻化 ④少子高齢化と人口減少 ⑤価値観の多様化と地域社会文化 ⑥地方分権の進展と地域経営 ⑦財政状況の深刻化と経営改革 | ①「市民」こそがまちづくりの主体であり、すべての人の基本的権利の尊重のもとに、市民相互に協働するとともに、市と協働して「健康と福祉」「文化創造」「環境との調和と共生」「自然との調和」「多世代の共生」「安全」のまちづくりを推進する | ひとが元気 まちが元気 やまが元気 ～みんなでつくる「箕面のあした」～ | ①「ひとが元気」…一人ひとりがそれぞれのスタイルで、健康で安心して心豊かに暮らし、高齢者と若い世代の交流など市民がお互いにかかわり あいながら、元気に生活するまち ②「まちが元気」…道路や公共施設が整備され、医療、商業・サービス業など市民の生活に密着した機能が確立し、暮らしを支えているまち ③やまが元気…みどり豊かな自然を守り、人が自然とふれあい共生しているまち ④「みんなでつくる「箕面のあした」」…箕面の魅力であるみどり豊かな住みよいまちを次世代にも引き継いでいくため、市民、事業者、市民活動団体、行政など、みんなで元氣な箕面をめざしたまちづくりを進めていこうという強い意志 | ①安全・安心でみんながいきいき暮らすまち ②子どもも大人も育つまち ③環境共生さがけのまち ④「箕面らしさ」を生かすまち ⑤誰もが公共を担い、みんなでつくるまち | 第3次将来像「自治と連帯にもとづく福祉のまち」 「自然につつまれた文化のまち」 「都市環境の整った人間本位のまち」 第4次将来像「人のあたたかさとかげがえのない自然を守り育てる都市(まち)“みのお”」 「ときめきと豊かな人生をつくりだす都市(まち)“みのお”」 「安全で快適に暮らし続けられる都市(まち)“みのお”」 |
| 和泉市 | 平成18年12月 (第4次 平成19年～27 年) | ①新たな自治の仕組みづくり ②子どもを取り巻く良好な環境づくり ③生涯学び、暮らしに生かす環境づくり ④健康でいきいきと暮らせる社会づくり ⑤災害に備えたまちづくり ⑥地球規模の環境負荷の軽減 ⑦地域の特性を生かした産業政策と就労支援 ⑧真に平等な社会の仕組みづくり | ①歴史や文化、環境などの地域資源を大切にしながら、新たなまちの魅力を生み出し、市民誰もが信頼しあひ、安全・安心に暮らし、誇りと愛着を持って住み続けることができるまちを目指します。 | 人がきらめき 共に育む 元氣なまち・和泉 | ①発展した都市機能と南部地域の美しく豊かな自然環境との調和が図られ、少子高齢化が進展する中でも、持続的に発展可能なまちになっています。 ②地域資源が有効に活用され、誰もが本市の魅力を楽しみ、活気にあふれ、市民としての誇りを感じています。 ③いざというときの備えがあり、地域内で互いに助け合い、見守る力が発揮され、誰もが市内各地に快適に移動できるなど安全、安心に住まう環境が整っています。 ④市民は相互に信頼しあひ、ふれ合い、お互いの喜びや悲しみ、痛みなどを共感し、自分らしさを発揮しながら、行政と共に協働社会を担うパートナーとしてさまざまな場面で活躍し、生活の質が高いという誇りを実感しています。 | ①みんなの力を生かし地域が活性化するまち ②多世代が豊かな心を育む学びのまち ③生涯を通じて健康でいきいきと生活できるまち ④市民が安全で安心して暮らせるまち ⑤だれもが環境にやさしい生活を営んでいるまち ⑥個性を生かした産業と働く人々の活気のあるまち ⑦すべての人が個人として輝き権利が尊重されるまち | 第1次将来像「にんげん回復のまちづくり」 第2次将来像「調和と活力のある人間都市・和泉」 第3次将来像「豊かさを共有する人間都市・和泉」 |
| 泉佐野市 | 平成21年10月 (第4次 平成21年度～ 30年度) | ①「右肩上がり」から「右肩下がり」 ②「中央集権」から「地方分権・自立化」 ③「平均化」から「個性化・多様化」 ④「行政主体の統治」から「多様な主体による協働」 | ①都市基盤積極的に活用することにより、新しい時代にふさわしいまちづくりを展開します。 ②身近な生活基盤の整備とともに、新たなコミュニティ形成の強化などが求められ、真に豊かな暮らしを送るための「ひと」にやさしいまちづくりが必要とされます。 ③生活者や来訪者などの「ひと」に視点をおいたまちづくりを積極的に推進していきます。 | 賑わいと歴史ある迎都 泉佐野 -ひとを育み ひとにやさしく- | ①ひとを育み、大切に、愛されるようなまちづくりを基本に、関西国際空港をはじめ各種の交流基盤を最大限に活用し、人と人との交流を通じて、まちづくりを積極的に進め、市民をはじめとした「ひと」が主体となり、モノや情報そして文化が活発に行き交うまちをめざします。 ②空港のインパクトを市民生活のあらゆる面にいきわたらせ、市民をはじめさまざまな「ひと」が集い、そこで多様な交流をつくりだすことにより「まち」が輝き、賑わいづくりを進めるとともに、歴史的資源や農林漁業および産業都市等の蓄積をいかし、先進的なまちをめざします。 | ①市民と協働し、すべてのひとが輝くまちづくり(自律・協働) ②歴史・文化を大切に、ひとを豊かに育むまちづくり(教育・文化) ③やさしさとふれあいのあるまちづくり(安心・健康) ④安全で、ひとと地球にやさしいまちづくり(安全・環境) ⑤活力をうみ、賑わいのあるまちづくり(活力・賑わい) ⑥心地よく、くつろぎを感じるまちづくり(快適・憩い) | 第1次将来像「より豊かで、住みよい泉佐野」 第2次将来像「21世紀への飛躍・明日の泉佐野づくり」 第3次将来像「ひとが集い、まちが輝く 世界の迎都・泉佐野」 |